

Ⅱ. 調査結果

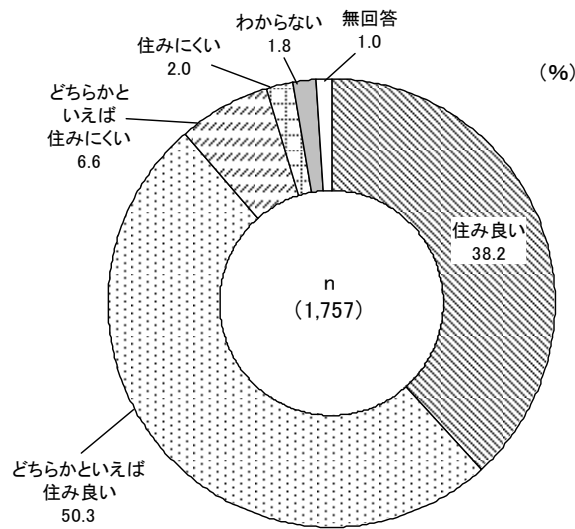
第1章

豊島区の印象について

第1章 豊島区の印象について

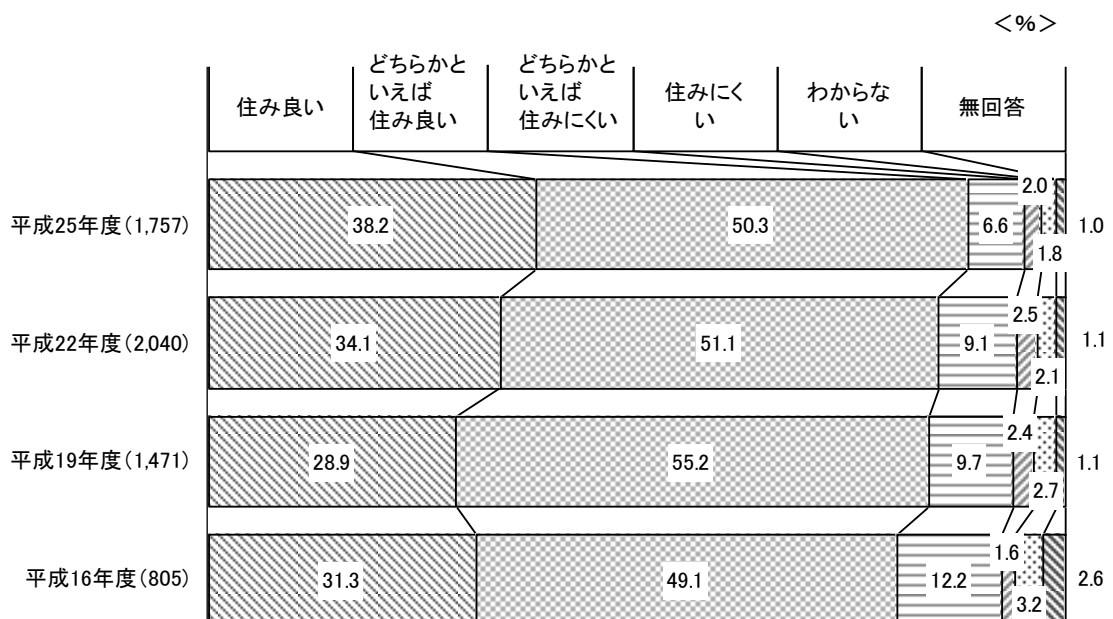
1-① 住み心地〔問1〕

- 豊島区の住み心地を聞いたところ、「どちらかといえば住み良い」(50.3%)が最も高く、「住み良い」(38.2%)と合わせた“住み良い”(88.5%)としてみると、約9割となっている。
- 「どちらかといえば住みにくい」(6.6%)と「住みにくい」(2.0%)を合わせた“住みにくい”(8.6%)としてみると、約1割となっている。



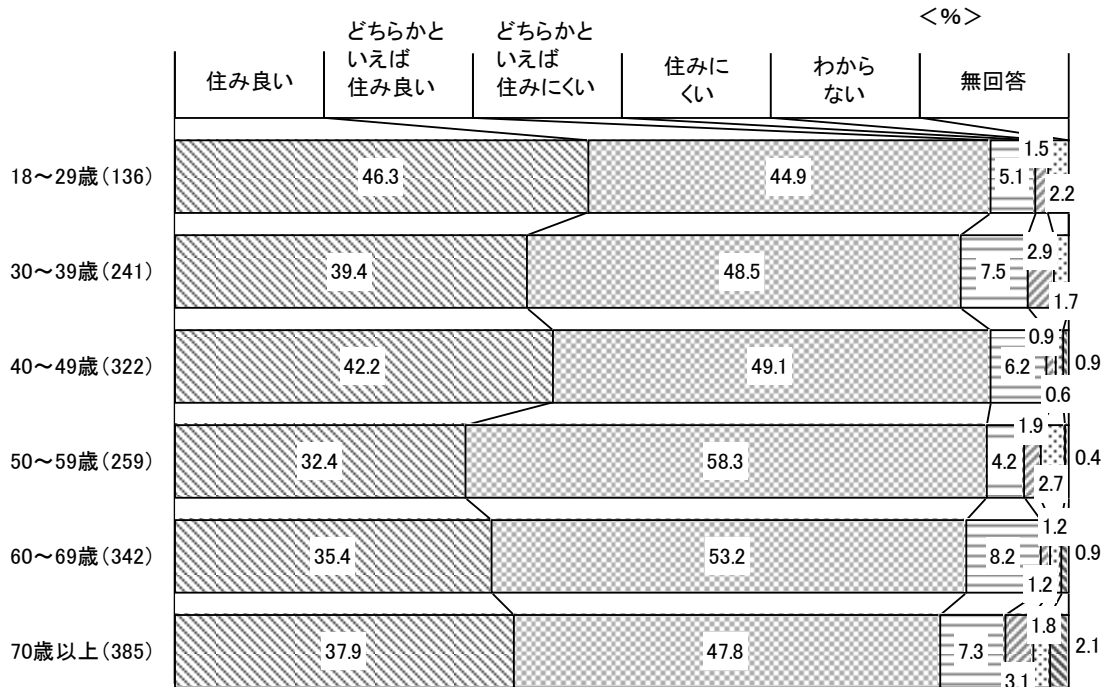
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、“住み良い”は平成16年度調査から8.1ポイント高くなっている。



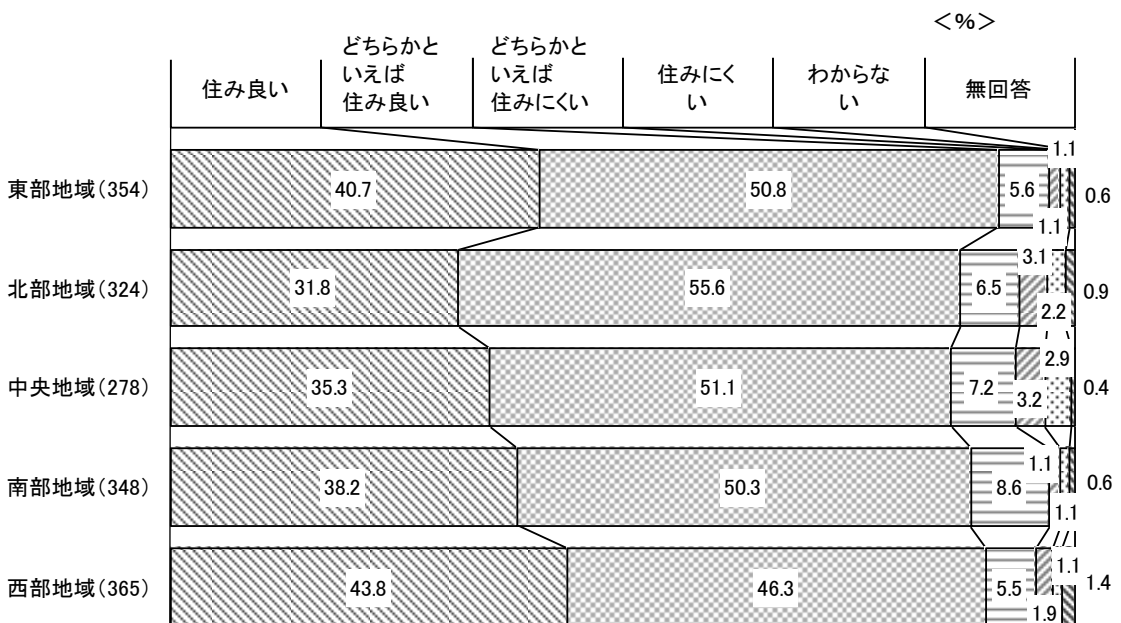
【年齢別】

- “住み良い” は40～49歳（91.3%）、18～29歳（91.2%）、50～59歳（90.7%）で9割を超えている。
- “住みにくい” は30～39歳（10.4%）と70歳以上（10.4%）で1割を超えている。



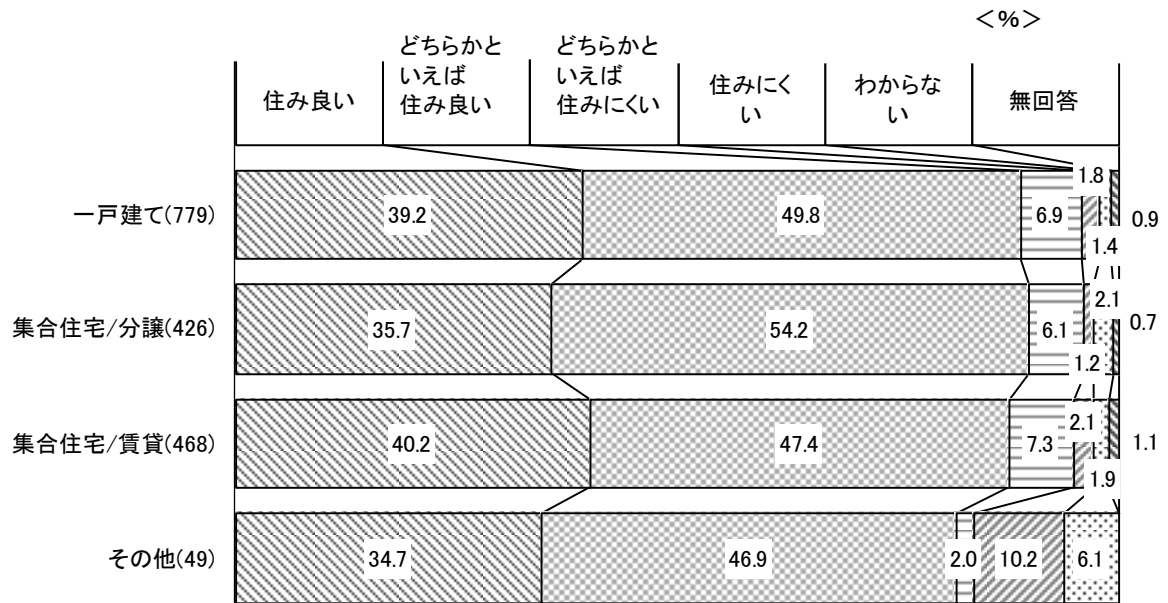
【地域別】

- “住み良い” は東部地域（91.5%）と西部地域（90.1%）で9割を超えている。
- “住みにくい” は中央地域（10.4%）で1割を超えている。



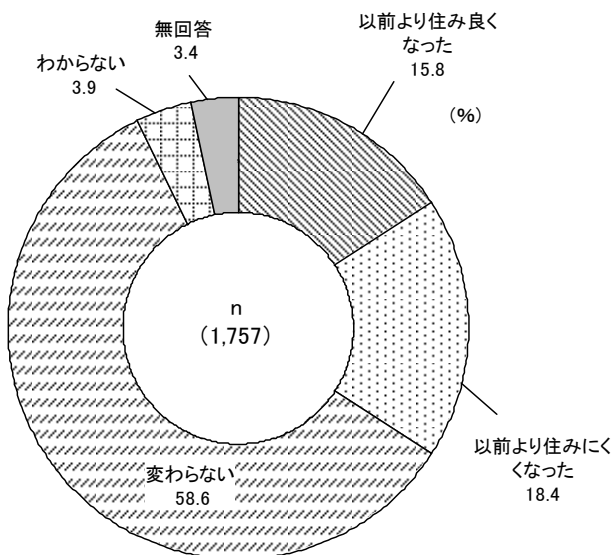
【住まい形態別】

- “住み良い” は集合住宅（分譲）（89.9%）で最も高く、次いで、一戸建て（89.0%）、集合住宅（賃貸）（87.6%）となっている。



1-② 住み心地の変化〔問1-2〕

- 以前と比べた住み心地の変化を聞いたところ、「変わらない」(58.6%)が約6割と最も高くなっている。
- 「以前より住みにくくなった」(18.4%)が「以前より住み良くなった」(15.8%)よりも2.6ポイント高くなっている。



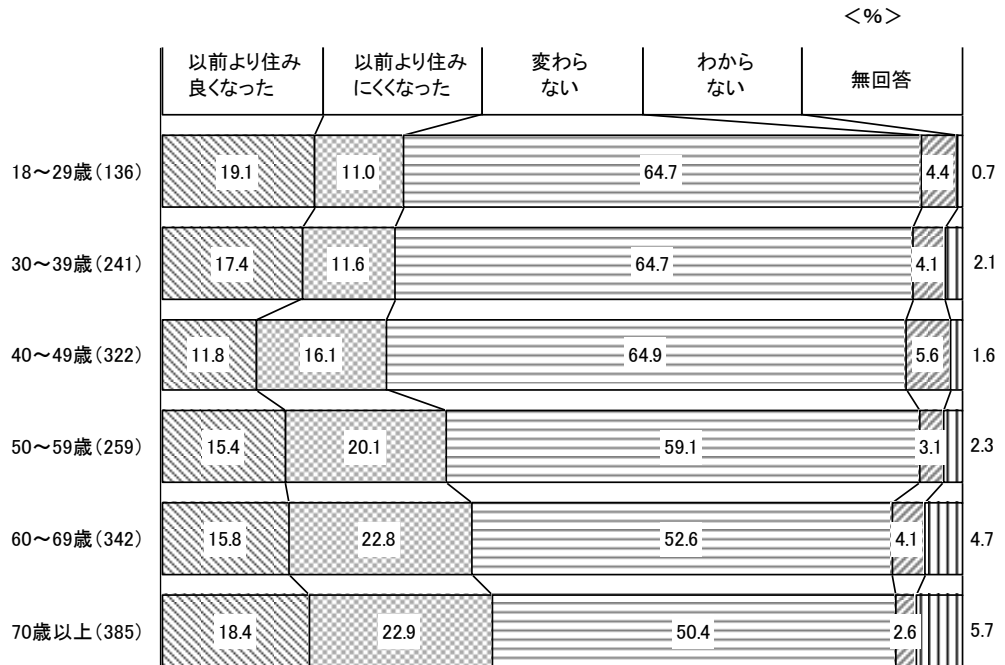
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「以前より住み良くなった」は平成19年度調査から4.2ポイント高くなり、「以前より住みにくくなった」は平成19年度調査から7.4ポイント低くなっている。

	<%>				
	以前より住み良くなった	以前より住みにくくなった	変わらない	わからない	無回答
平成25年度(1,757)	15.8	18.4	58.6	3.9	3.4
平成22年度(2,040)	15.0	22.0	56.7	3.8	2.5
平成19年度(1,471)	11.6	25.8	55.5	4.2	2.9

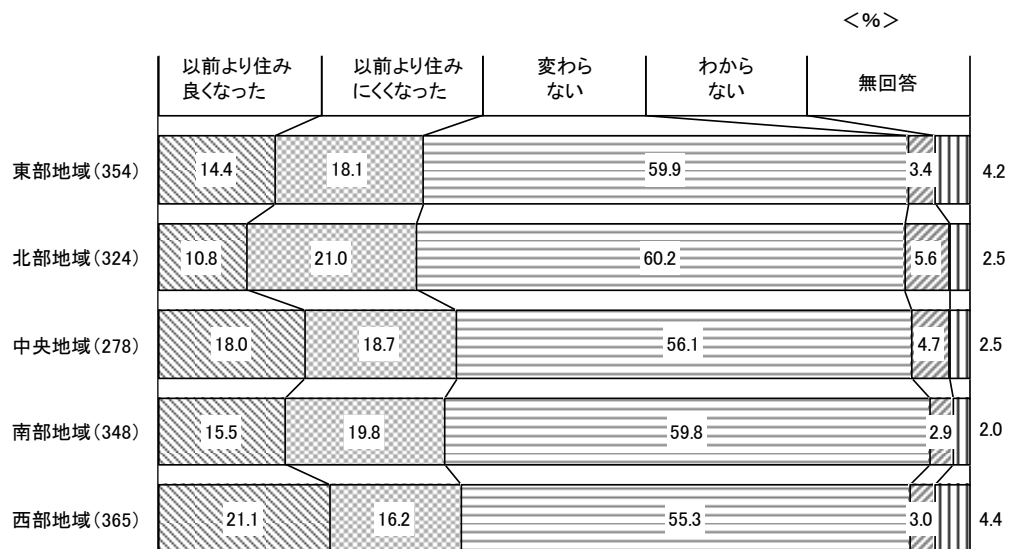
【年齢別】

- 「以前より住み良くなった」は18～29歳（19.1%）で約2割となっている。
- 「以前より住みにくくなった」は70歳以上（22.9%）、60～69歳（22.8%）、50～59歳（20.1%）で2割を超えている。



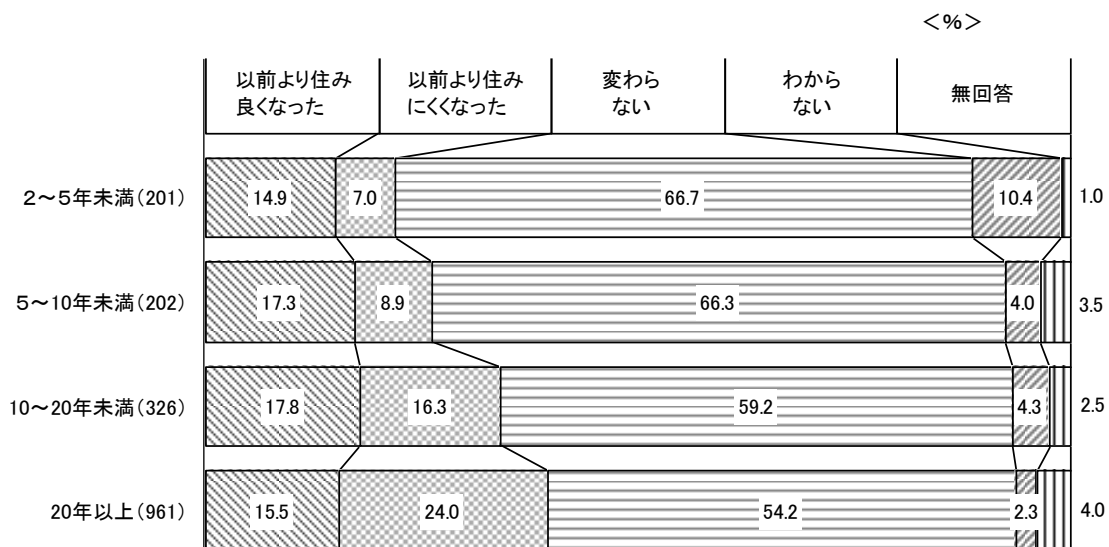
【地域別】

- 「以前より住み良くなった」は西部地域（21.1%）で2割を超えている。
- 「以前より住みにくくなった」は北部地域（21.0%）で2割を超えている。



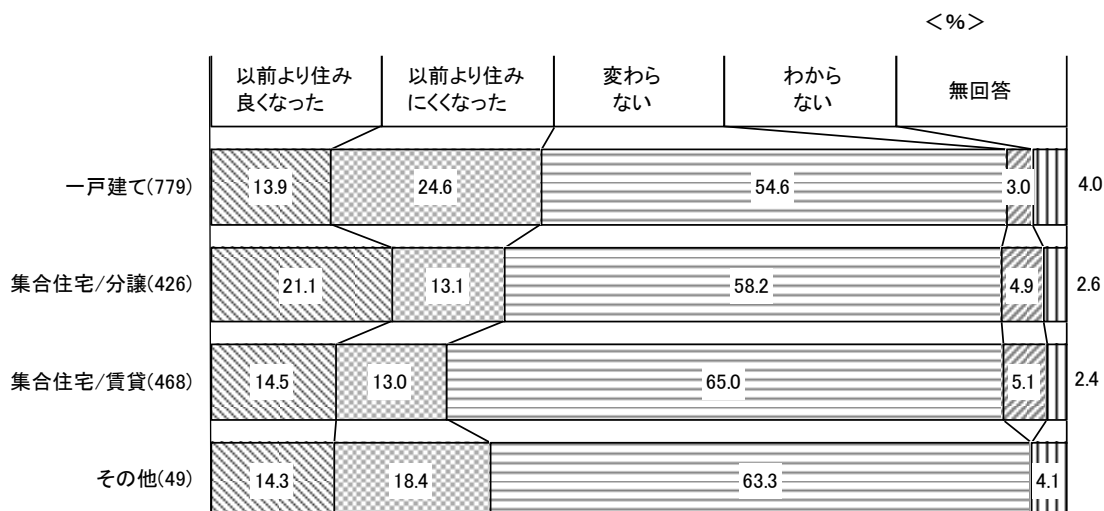
【居住年数別】

- 「以前より住み良くなった」は5～10年未満（17.3%）と10～20年未満（17.8%）でほぼ同じ割合となっている。
- 「以前より住みにくくなった」は居住年数が長くなるほど高くなり、20年以上（24.0%）で最も高くなっている。



【住まい形態別】

- 「以前より住み良くなった」は集合住宅（分譲）（21.1%）で2割を超えている。
- 「以前より住みにくくなった」は一戸建て（24.6%）で2割台半ばとなっている。



1-③ 住み心地の変化の理由〔問1-3〕

〔問1-2〕で「以前よりも住み良くなった」「以前よりも住みにくくなった」と回答した人に、その理由を尋ねた。自由回答形式の回答を分類すると、下表のとおりとなった。

【以前よりも住み良くなった主な理由】

区分	件数	主な意見
街づくり	67件	道路が整備された
		自転車専用道ができ、安心して歩けるようになった
		道路がきれいになった
		駅前・駅周辺がきれいになった
		街がきれいになった
		駅周辺の活性化
		駅ビルの完成
		駅にエレベーター・エスカレーターが設置された
		駅の南北通路ができた
		バリアフリー化が進んだ
		住環境がよくなった
		近くに公園ができ、環境がよくなった
		道路整備に伴い、家の建て替えが進んだ
		周辺のアパートが建て替わってきれいになった
		空き地がなくなった
		緑が多くなった
駅周辺に自転車駐輪場ができた		
放置自転車が少なくなった		
買い物が便利になった	66件	近所にスーパーができた
		近所にコンビニができた
		生活必需品の低価格販売店ができた
		大塚駅前の開発に伴い、スーパーが充実した
		飲食店が増えた
		巣鴨駅に駅ビルができた
		買い物する場所の選択肢が多い
交通の便がよくなった	64件	副都心線が開通した
		駅が近くなった
		家の近くにバス停ができた
		池袋・新宿間の道路ができた
		交通の便が更によりよくなり、アクセス範囲が広がり、時間が短縮された
		どこへ出るにも更に便利になった
各種施設ができた	9件	病院ができた
		スポーツジムやプールができた
		図書館が充実した
		介護施設が新設された

区分	件数	主な意見
人間関係がよくなった	9件	ベッドタウン的で、地域に住んでいる人がつきあいやすい
		少しずつ知り合いが増えて、町にとけ込んでいる実感が深まった
		道で会った時に自然とあいさつする人が増えた
		様々な地域活動を通じて、良い人間関係を築くことができた
		地域の方とのつながりや、子どもの見守りなど、地域全体で子育てが行える
治安がよくなった	7件	パトカーの巡回があり、治安が良い
		防犯カメラの設置などにより、安全な街になった
		公園に深夜、若者が集まる事が少なくなった
行政がよくなった	5件	駅の出入り口に横断歩道が作られるなど区民の声が届いたのが嬉しかった
		区民のためのいろいろな催事があり利用している
		公共施設の職員が親切で安心できる
騒音がなくなった	4件	まわりが静かで落ち着く
		周辺の工事が落ち着いている
住居がよくなった	2件	都営住宅の外装がきれいになり、地域の印象も良くなった
		一戸建てにした
その他	31件	引っ越してきて、前の居住地より環境が良くなった
		芸術の街で文化的要素が増えた
		可燃ごみの区別が簡単になった
		若い人が多くなった

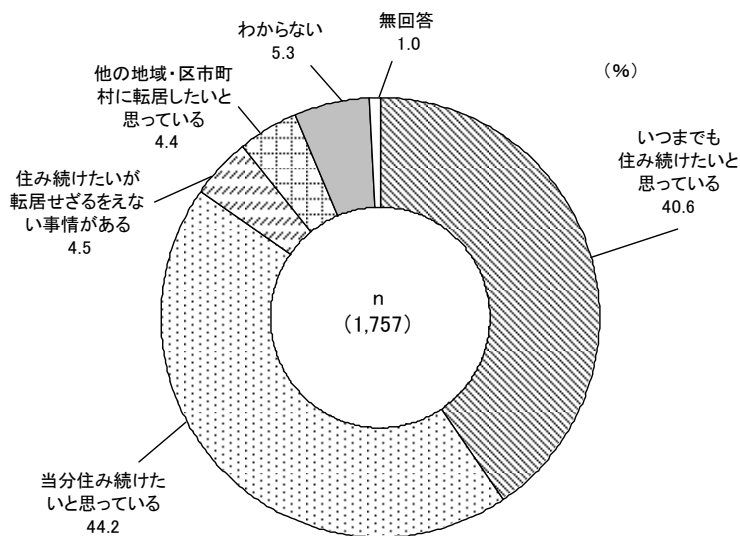
【以前よりも住みにくくなった主な理由】

区分	件数	主な意見
治安・マナー	64件	治安が悪くなった
		外国人が増えて不安を感じる
		外国人やワンルームマンション居住者が、ゴミ出しのルールを守らない
		ゴミ出しマナーの良くない人がいる
		自転車に乗っている人のマナーが悪い
		ホームレスや不審者が増えた
		隣家が空き家になり、放火や空き巣が心配
		夜間に騒ぐ人が増えた
		外灯が暗い
		飼い犬の糞をそのままにする人がいる
		駅前通りで客引きや風俗店がある
		ゴミやたばこのポイ捨てが多い
		街が汚くなった
犯罪が増えた		
コミュニティ・近隣関係	58件	近所づきあいがなくなった
		挨拶しても返事がない
		向こう三軒両隣という感覚が薄くなった
		新しく入ってきた人たちは付き合いを好まない
		知らない人が増えた
		となり近所に無関心な人が増えた

区分	件数	主な意見
		地域活動へ参加する人が減った ワンルームマンションが多く、災害時に地域での連携が取りにくいと思う 道路を広くするために、多くの人が引っ越していき寂しくなった
新しくマンションや住宅が建設され、住環境が悪化した	50件	高層ビルが増えた 風害がひどくなった 日当たりや景観が悪くなった 人や車の出入りが多くなった 相続などで土地が分割されて密集住宅地になる 小部屋賃貸マンションが急増した 空が狭くなり、息苦しく圧迫感がある
近所に商店がなくなり買い物が不便になった	41件	コンビニは増えたが、個人商店が少なくなった 地元の商店街が衰退している 生活に必要な小売店が家や駅の周辺からなくなった 近所にスーパーがない
道路・交通	22件	近所に道路ができ、交通量が増えた 上下水道やガスの工事が多く、道路が不整備の状態である 住宅が増えた割に、道路が狭い 駐輪場が少なくなった 駐輪場が遠く不自由している コイン駐輪場が駅周辺に増え、歩道が狭く感じるようになった 地下鉄ができたが、都電がなくなりバス路線が減った
騒音	18件	騒音がひどい 近隣で夜間騒ぐ人が増えた 近くに公共施設ができ、昼夜人の声がうるさくなった 工事による振動、騒音がひどい 若い世代の親子が多くなり、騒がしくなった 地下鉄の音がうるさくなった
緑・オープンスペース	14件	子どもができてから、公園の少なさを感じる人が多い 公園や子どもが遊べるスペースが少なくなった 犬を放せる公園が少ない 公園のゴミ箱が撤去され、ゴミのポイ捨てが増えた 地域の緑が少なくなった
行政	9件	高齢者や一人暮らしの方への情報提供が少ない がん研病院を上池袋にとどめることができなかつたのは大きな失政だった 東池袋5丁目は区画整理が全然進んでいない
各種施設	3件	保育園に力を入れており、3年保育の幼稚園がない 公園として使えそうな所が閉鎖され、電話で予約して鍵を借りなければ使えないのは不便
住居	2件	家賃がそこそこのファミリー向けのマンションが少ない 不動産が良くない
その他	41件	野良猫が多い 外国人が増えた 空き地が増えた

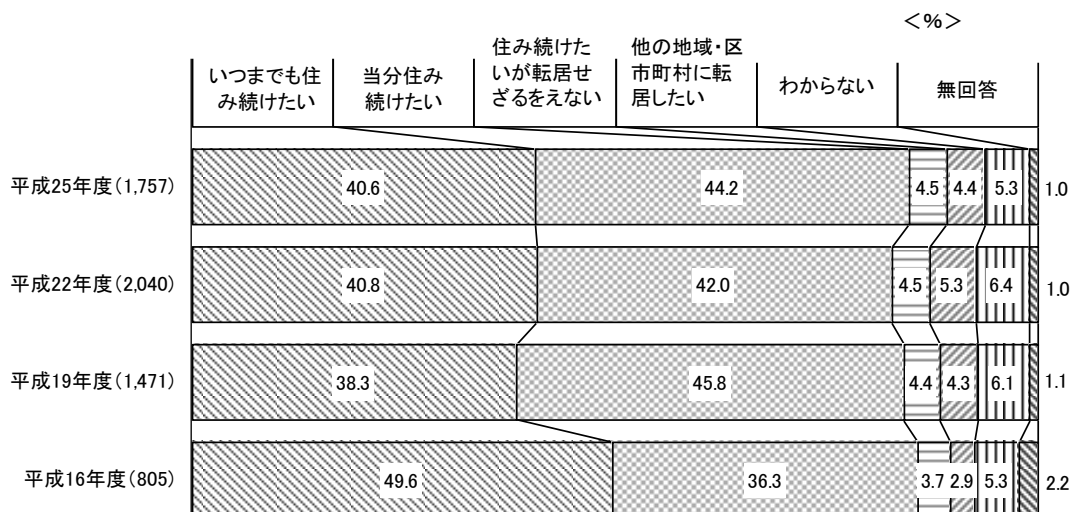
2 定住意向〔問2〕

- 定住意向について聞いたところ、「当分住み続けたいと思っている」(44.2%) が最も高く、「いつまでも住み続けたいと思っている」(40.6%) と合わせた“住み続けたい”(84.8%) としてみると、8割台半ばとなっている。
- 「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」(4.4%)、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」(4.5%) はともに1割を下回っている。



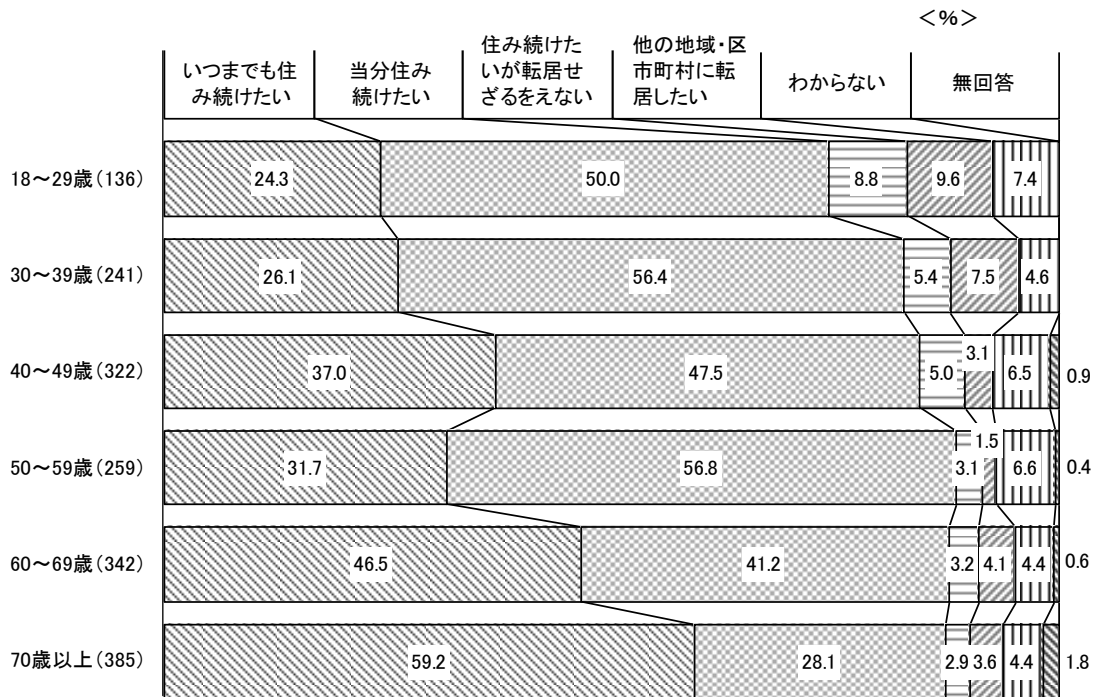
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、平成19年度以降は大きな違いがみられない。



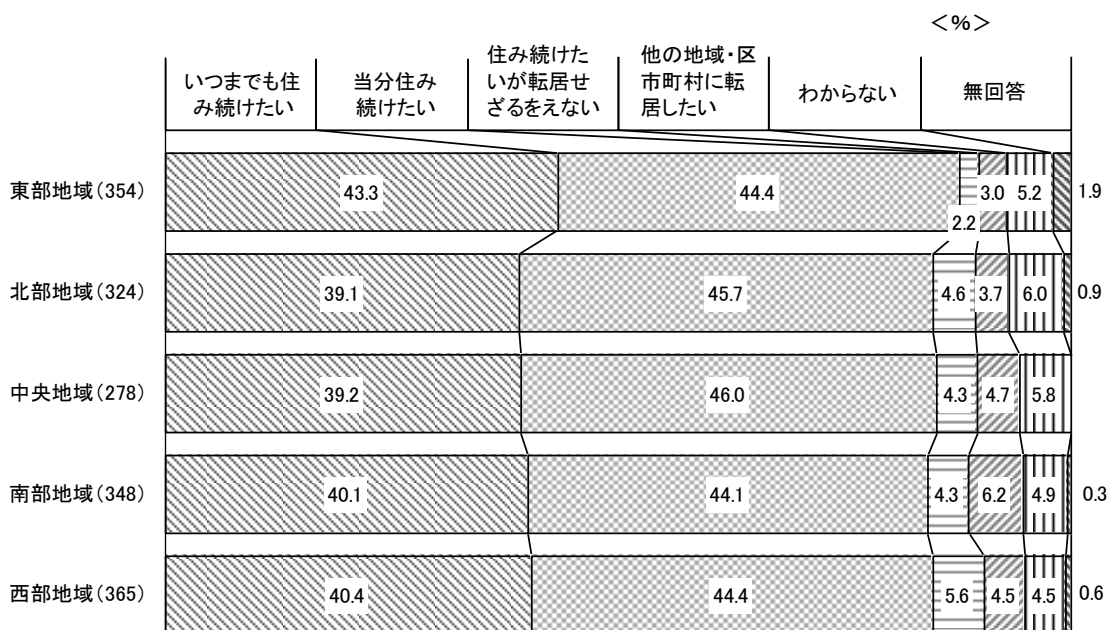
【年齢別】

- 「いつまでも住み続けたい」はおおむね年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、70歳以上(59.2%)で約6割となっている。
- 「他の地域・区市町村に転居したい」は18~29歳(9.6%)で約1割となっている。



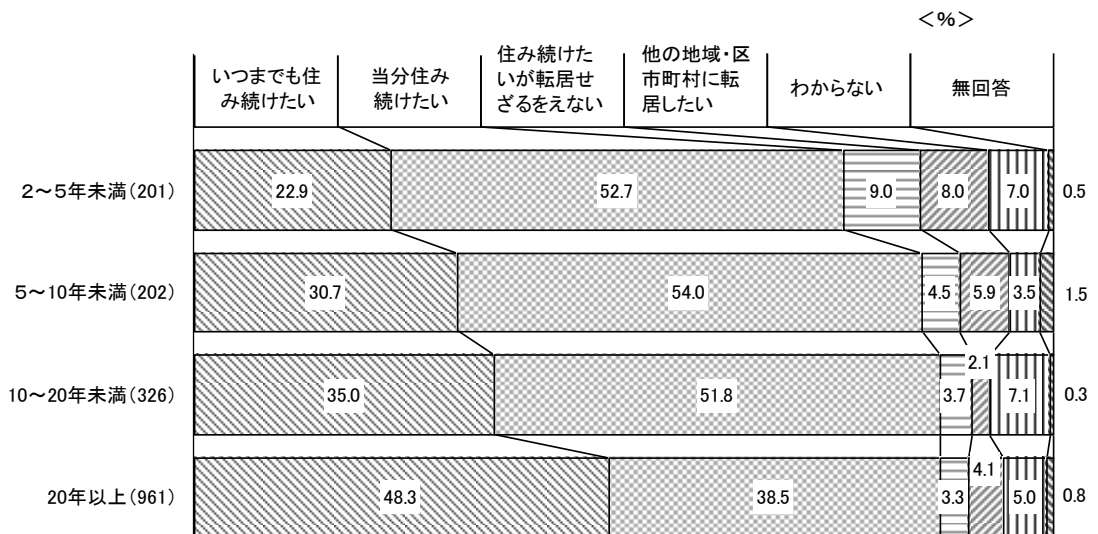
【地域別】

- 「いつまでも住み続けたい」は東部地域(43.3%)で4割台半ばと最も高くなっている。



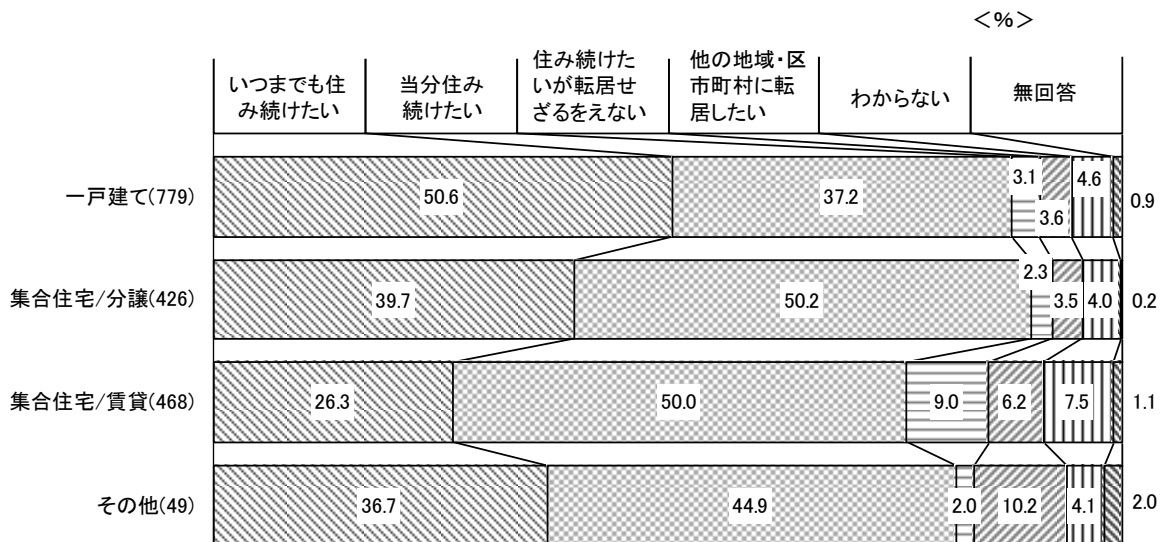
【居住年数別】

- “住みたい”は居住年数が長くなるほど高くなり、20年以上（86.8%）と10～20年未満（86.8%）で最も高くなっている。



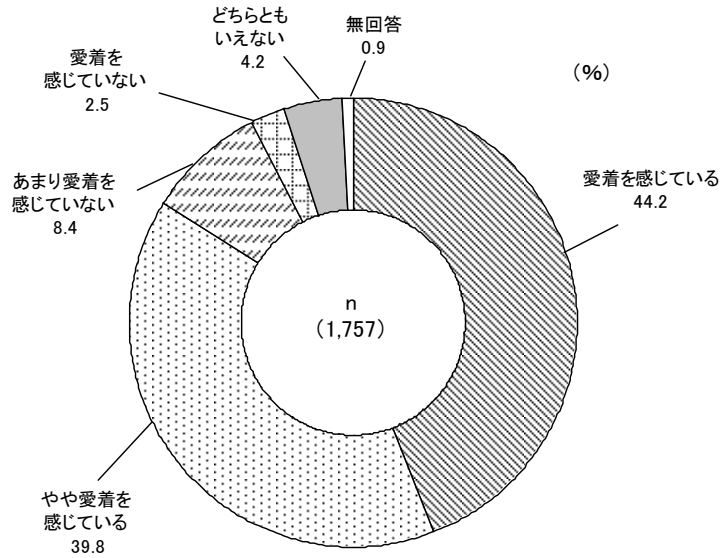
【住まい形態別】

- “住みたい”は集合住宅（分譲）（89.9%）で約9割と最も高く、次いで、一戸建て（87.8%）となっている。
- 「住みたいが転居せざるをえない」は集合住宅（賃貸）（9.0%）で約1割となっている。



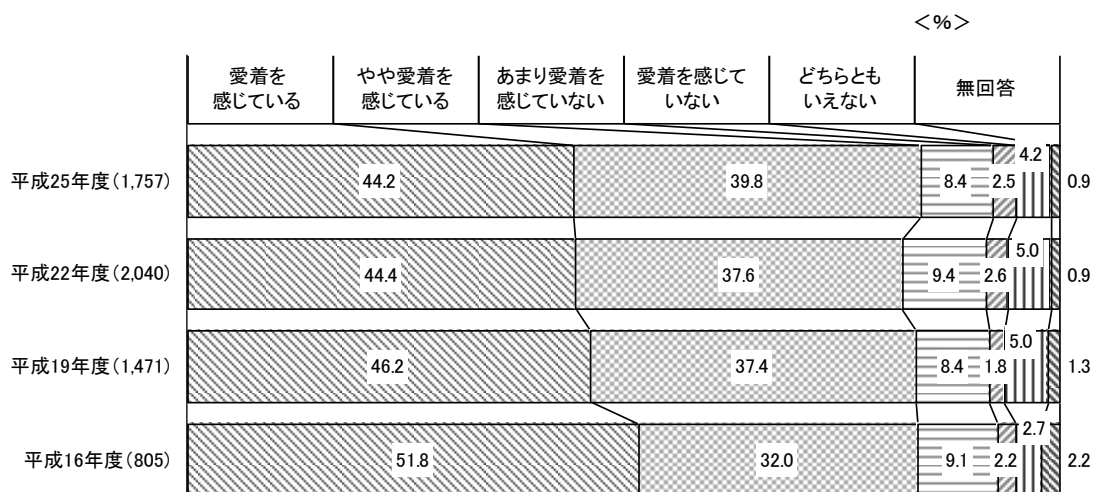
3 地域への愛着〔問3〕

- 地域への愛着について聞いたところ、「愛着を感じている」(44.2%)で4割台半ばと最も高く、「やや愛着を感じている」(39.8%)と合わせた“愛着を感じている”(84.0%)としてみると8割台半ばとなっている。
- 「あまり愛着を感じていない」(8.4%)と「愛着を感じていない」(2.5%)を合わせた“愛着を感じていない”(10.9%)としてみると、1割を超える程度となっている。



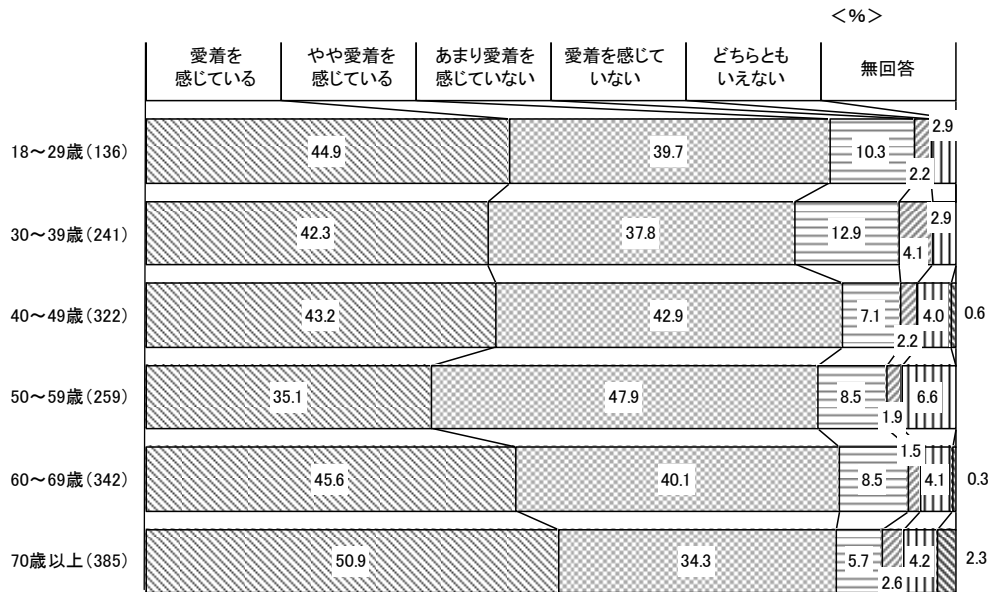
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「愛着を感じている」(44.2%)は平成16年度から7.6ポイント低くなっているが、“愛着を感じている”としてみると、0.2ポイント高くなっている。



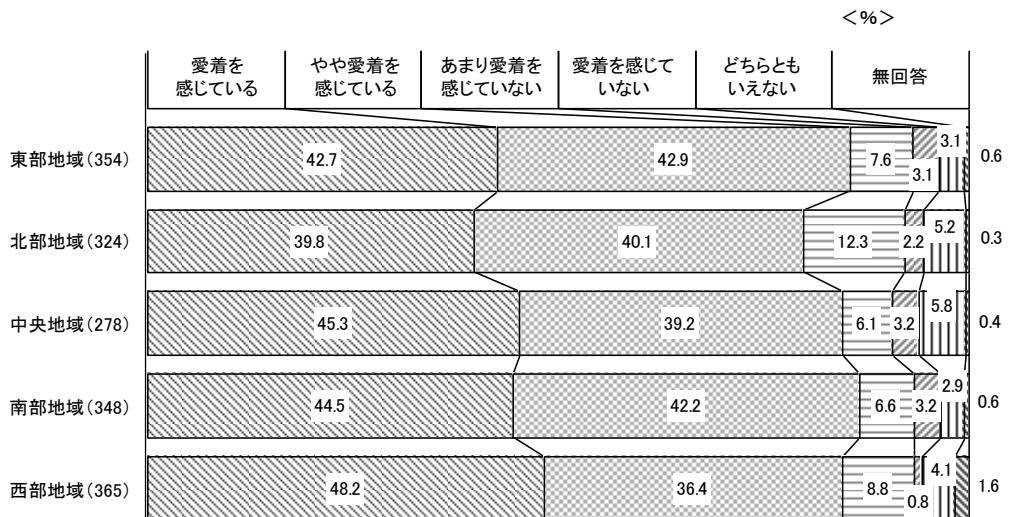
【年齢別】

- “愛着を感じている” は40～49歳（86.1%）、60～69歳（85.7%）、70歳以上（85.2%）、18～29歳（84.6%）で8割台半ばとなっている。



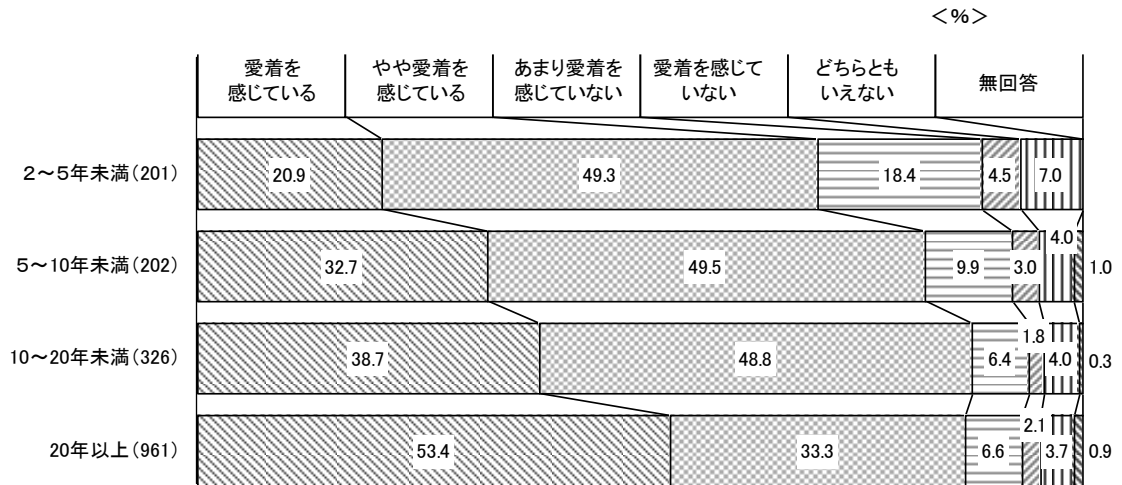
【地域別】

- “愛着を感じている” は北部地域（79.9%）を除く全ての地域で8割台半ばとなっている。
- “愛着を感じていない” は北部地域（14.5%）で1割台半ばとなっている。



【居住年数別】

- “愛着を感じている”は10～20年未満(87.5%)で8割台半ばを超えており、20年以上(86.7%)で8割台半ばとなっている。
- “愛着を感じていない”は2～5年未満(22.9%)と2割を超えている。



【住まい形態別】

- “愛着を感じている”は一戸建て(89.3%)で約9割と最も高く、次いで、集合住宅(分譲)(82.9%)となっている。

